

平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	情報基盤の強化対策費 (電子入札・開札システム運用支援等)		担当部局庁	大臣官房会計課		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成15年度～平成25年度(予定)		担当課室	会計課		大臣官房会計課長 鎌形 浩史	
会計区分	一般会計		施策名	9-4 環境情報の整備と提供・広報の充実			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	環境省電子入札・開札システム等の運用により、契約事務手続きの電子化を進め、行政事務サービスの効率化に寄与する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	環境省電子入札・開札システム及び資格審査システムのハード及びソフトウェアの賃貸・保守、運用における障害・疑問に対する回答を行う運用支援を行う業務。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	162	59	71	88	38
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	162	59	71	88	38
	執行額	143	51	68			
執行率(%)	88%	86%	96%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	主業務がハードウェア等の賃貸借・保守と審査内容の修正に伴うプログラム改修であることから、直接的な成果目標を定量的に示すことは困難である。	成果実績					
	達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	電子入札・開札システムにおいては、本省をはじめとして全国17箇所クライアント端末を設置し、契約手続きを行う等行政事務サービスの効率化を図ることを目的としていることから、活動指標を定量的に示すことは困難である。	活動実績 (当初見込み)				()	()
単位当たりコスト			算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	情報処理業務庁費	88	38	平成23年度において必要な改修が終了したことによる減。			
	計	88	38				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	—	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本業務は、応札業者が電子上において契約手続きを行う際の利便性向上等に寄与しているところ。しかし、環境省電子入札・開札システムについては、平成25年度中に全府省共通の電子調達システムへと移行することとなるため、今後の改修等については費用対効果を勘案し、真に必要なものか否かを考慮した上で行うこととしたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状維持	<p>これまでの知見を活かし、効率的な事業実施に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

電子入札・開札システム

環境省
47百万円

【随意契約・請負】

A.(株)富士通エフサス
東京センチュリーリース(株)
34百万円

システムのハード、ソフトウェアの賃貸及び保守業
務を行う。(3者契約)

【公募・請負】

B.(株)富士通エフサス
他1社
13百万円

運用における障害、質問に対する対応を行い、シス
テムの運用を支援する

資格審査システム

環境省
21百万円

【随意契約・請

C.富士テレコム(株)
東京センチュリーリース(株)
4百万円

システムのハード、ソフトウェア
の賃貸及び保守業務を行う。
(3者契約)

【随意契約・請負】

D.日本システムウェア(株)
他1社
5百万円

プログラム改修、データの入力
等

【随意契約・請負】

E.日本電気(株)
12百万円

インターネット受付システムの
運用支援・改良等を行う。

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)富士通エフサス、東京センチュリーリース(株)			E.日本電気(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ハード・ソフトウェアの賃貸借及び保守	34	雑役務費	受付等業務、運用支援・改良経費	12
計		34	計		12
B.(株)富士通エフサス			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	運用支援等経費	13			
計		13	計		0
C.富士テレコム(株)、東京センチュリーリース(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ハード・ソフトウェアの賃貸借及び保守	4			
計		4	計		0
D.日本システムウェア(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	システム及びプログラム改修	4			
計		4	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士通エフサス(株)・ 東京センチュリーリース (株)	ハード・ソフトウェア賃貸借及び保守(環境省電子入札・開札システム)	34	随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)富士通エフサス	運用支援業務及びシステム間連携作業(環境省電子入札・開札システム)	13	随意契約	—
2	富士通エフ・アイ・ピー(株)	ライセンス更新作業(環境省電子入札・開札システム)	0.3	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	富士テレコム(株)・ 東京センチュリーリース (株)	ハード・ソフトウェア賃貸借及び保守(資格審査システム)	4	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本システムウェア(株)	システム及びプログラム改修(資格審査システム)	4	随意契約	—
2	(株)ジャパンエンジニアーズ	セキュリティ管理業務(資格審査システム)	0.7	随意契約	—

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	日本電気(株)	インターネット受付システム運用支援業務等(資格審査システム)	12	随意契約	—